

HI-Cube ジャーナル

INDEX

・入居企業紹介（ワコン㈱）	1	・トピックスⅢ	3
・卒業企業紹介（(同)MODE・CREATE）	2	・トピックスⅣ	4
・トピックスⅠ	3	・新スタッフ就任のご挨拶	4
・トピックスⅡ	3		

入居企業紹介（208、310号室）

ワコン株式会社 浜松研究所
 代表取締役：西田 耕平
 設立：1951年10月
 入居：2022年4月
 TEL：053-401-4530
 URL：https://www.wa-con.co.jp/



◆会社概要

当社は、これまでの物流に「新たな視点」で取り組む、物流・包装機器メーカーです。「BASE（段ボールなど）事業」「COOL（保冷箱など）事業」「パックプロ（輸出梱包サービス）事業」の3つの事業領域で事業を展開し、日本の物流を変えたいと考えています。



代表取締役 西田耕平氏

◆HI-Cubeでの活動内容、製品紹介

当社が保有する技術と製品に、浜松研究所が持つ技術を掛け合わせて、

- ・脱着式電動冷却ユニット
- ・医薬品定温・低温輸送、保管システム
- ・新保冷剤システム

などの「次世代保冷輸送ツール」の研究開発および提案に取り組んでいます。

エレキング (脱着式電動冷却ユニット)	クールワンプラス (蓋一体型折りたたみ断熱コンテナ)	キプクル (凍結しやすい保冷剤)
		

卒業企業紹介

合同会社 MODE・CREATE

代表社員：加藤 康聡

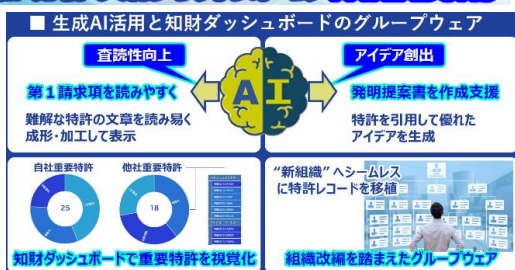
設立：2019年5月

入居：2021年3月～2025年4月

URL：<https://mode-create.com/>



“特許情報”分析・共有プラットフォーム PATLABORS



◆会社概要



代表 加藤康聡氏

前職時代（愛知県の自動車部品メーカーに勤務）に培ったソフトウェア開発、特許関連バックオフィス（出願、調査、分析）業務の経験とノウハウを活かして、製造業の技術者向けの特許管理業務に役立つグループウェアの提供を目的に設立。実装する機能の特許と商標を取得。現在、大手ソフトウェア事業者とのアライアンスを実施中。



来客対応中の加藤代表と新事務所風景

◆HI-Cube での活動内容

2023年にA-SAP産学官金連携イノベーション推進事業に採択され、県及び浜松市の助成を受けて静大情報学部との共同研究を実施。翌2024年に展示会「人とするまのテクノロジー展 YOKOHAMA」に出展し、静大AIと生成AIによる特許文書の分析機能は多くの来場者から好評をいただきました。

◆HI-Cube に入居して

静大浜松キャンパスに隣接する好立地にて、IM室マネージャー様、中小機構アドバイザー様の方より助言を賜り、浜松地域イノベーション推進機構への相談も含め多大なるご支援をいただきました。静大情報学部との共同研究では、綱川研究室の推論エンジンが円滑に評価できるよう、評価システムの仕様作成、学習・評価データの準備、判定アルゴリズムの提案に関わらせていただき、翌年の言語処理学会と日本特許情報機構への論文発表の成果へと繋がりました。その後、静大発ベンチャー企業（第56号）の称号の認定もいただきました。

おかげで入居期限まで1年の猶予を残して卒業することができ、これも素晴らしい先輩起業家様との出会い、業務提携先や研究パートナーに恵まれたことなど予期せぬ多くの幸運が重なり、ここでの事業活動を通じて得難きご縁に恵まれたものと感謝しております。

最後に現在ご入居中の事業者様のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げまして、卒業のご挨拶とさせていただきます。



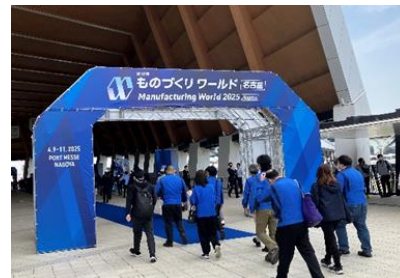
（運について）

★トピックスⅠ

「ものづくりワールド名古屋 2025（ポートメッセ名古屋）」

中部地方最大のものづくり展示会「ものづくりワールド名古屋 2025（4/9～11）」を訪問しました。ものづくり企業の生産性向上とDX化の推進状況、それらの新しい技術の動向を視察するため各ブースを見て回りました。会場は2つに分かれていて、1つはものづくり技術中心の展示、もう1つはIT系中心の展示でした。さすが、ものづくり企業が多い中部地方ならではの展示会であり、ものづくり技術中心の会場は、より多くの来訪者で賑わっていました。

次世代3Dプリンタのブースでは、3次元スキャナから3Dプリンタにデータを送り、フィギュアを作成するデモを行っていました。3Dプリンタによる造形と同時に、インクによる着色も行うことで、フィギュアの顔の形成、衣類の色付けを行い、フィギュアとして完成させることを実現。単なる造形だけではなく着色まで行うことにより、3Dプリンタのさらなる可能性を感じました。



★トピックスⅡ

「人とくるまのテクノロジー展 2025YOKOHAMA（パシフィコ横浜）」

5月21日から3日間、パシフィコ横浜で「人とくるまのテクノロジー展 2025YOKOHAMA」が開催され、23日視察しました。主催は（公社）自動車技術会（JSAE）。今回の出展617企業・団体（前回は590社）は過去最大規模であり、3日間の来場者数は79,808人と発表されました。昨年と同様、自動車を構成する全ての要素技術、完成車を支える部品や材料、車載システムなどが技術的観点から紹介されていました。自動車メーカーから素材メーカーまで、多種多様な企業が一堂に会した展示会でした。HI-Cube入居企業では、（株）エフ・シー・シーと（株）椿本チエインの出展がありました。また、卒業企業では、ASTI（株）と（株）テクニカルサポートの出展がありました。入居企業、卒業企業の皆さまの出展状況を中心に確認させていただきました。それぞれの分野で活躍中です。

★トピックスⅢ

「ジャパンドローン 2025（幕張メッセ）」

本展示会（6/4～6）は2016年の初開催以来、今回で10回を数えるドローンに特化した国内最大規模の専門展示会であり、会場では様々な課題解決に向けたビジネスマッチングの場も提供されていました。

災害発生時の被害状況把握やインフラ設備の保守・メンテナンスへの活用事例も多く見られ、自治体、保守会社とスタートアップ企業との連携による取り組みが活発になっていると感じられました。

卒業企業の（株）先端力学シミュレーション研究所の出展もあり、ドローンの性能計測や安全に飛行再現ができる分析システムと、機体が現実空間を飛んでいるかのようなARシミュレータの展示がありました。地上に居たままドローンの性能試験ができるもので、貴重なドローン試作機を墜落リスクなしで性能評価できる、特徴的なものでした。



★トピックスⅣ

「静岡ウェルネスフォーラム キックオフセミナー（ホテルアソシア静岡）」

（公財）静岡県産業振興財団、ウェルネス・フーズ産業支援センター主催による静岡ウェルネスフォーラムへ参加しました。同フォーラムは食品・ウェルネス産業の振興と県民の健康寿命の延伸による県民幸福度日本一を目指して、本年4月に設立されたものです。6月13日に開催されたキックオフセミナーではスタンフォード大学主任研究員の池野文昭氏により基調講演が行われました。

事例・取組発表ではHI-Cube 入居のS-Bridges (株)CTO 佐野吉彦先生による「植物成分をすべて有効活用するための成分研究及び技術開発」の発表が行われ、茶殻などを捨てずに全成分を抽出するという取組に多くの方が関心を持っておられました。その他、静岡社会健康医学大学院大学による取組も発表され、県外からの参加者もあり、活気のあるセミナーとなっていました。

●新静岡エリアマネージャー就任のご挨拶

4月から静岡エリアマネージャーとして着任しました、三輪拓也と申します。出身は兵庫県加古川市です。中小機構の前身である地域振興整備公団に入団して、工業団地の造成や融資の仕事をしておりました。独立行政法人として中小企業基盤整備機構が発足した後は、主に財務会計システムなどのシステム構築を担当する傍ら、東日本大震災の被災地支援にも携わっていました。趣味は休日に登山（ハイキング）をしているほか、模型作りに勤しんでいます。皆さまのお役に立てるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



●新インキュベーションマネージャー（IM）就任のご挨拶

本年4月より、IMとして勤めております本多和彦と申します。浜松市常盤町生まれです。関東の電気メーカーに一旦勤めた後、Uターンして市内楽器メーカーに定年まで勤め、その後契約社員として勤めていました。その間、オーディオビデオ機器の商品開発に従事し、要素開発、設計、商品企画、技術調査などの業務を経験しました。民生用電子機器の世界では、ある時期まで日本が隆盛を誇っていましたが、韓国・中国企業の台頭、その後のスマホの目ざましい普及により衰退を余儀なくされ、近年多少の寂しさを感じています。HI-Cube に来て多くの入居企業様があり、皆さまが情熱を持って新しいことにチャレンジしている姿をみて感動しました。微力ではございますが少しでもお役に立てるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



編集後記

今年度からHI-Cube ジャーナルのレイアウトを見直しました。三輪エリアマネージャー、本多IMを迎え、新たな気持ちで励みたいと思います。今後とも浜松イノベーションキューブをよろしくお願い申し上げます。

【編集者・発行人】
独立行政法人中小企業基盤整備機構 中部本部
浜松イノベーションキューブ（HI-Cube）IM室
〒432-8003 浜松市中央区和地山 3-1-7
TEL:053(478)0141 FAX:053(473)7221
e-mail:hi-cube-info@smrj.go.jp

